

見てみようよ！常総市の会

最終報告プレゼン資料

2024, Feb.,10

・2015年関東東北豪雨災害

常総市洪水ハザードマップ

鬼怒川

越流 ×

決壊 ×

● 浸水深の色の見方



● 浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m以上の区域
- 2.0m~5.0m未満の区域
- 1.0m~2.0m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

拡大表示

● 河川名称一覧

河川名称	河川番号
鬼怒川	1
小貝川	2
...	...

● 情報の提供

作成日: 2014年10月

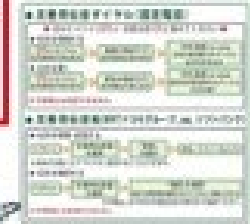
更新日: 2014年10月

作成者: 常総市防災課

配布先: 常総市役所

● 浸水想定区域一覧

区域名	面積(㎡)	人口(人)
5.0m以上の区域
2.0m~5.0m未満の区域
1.0m~2.0m未満の区域
0.5m~1.0m未満の区域
0.5m未満の区域

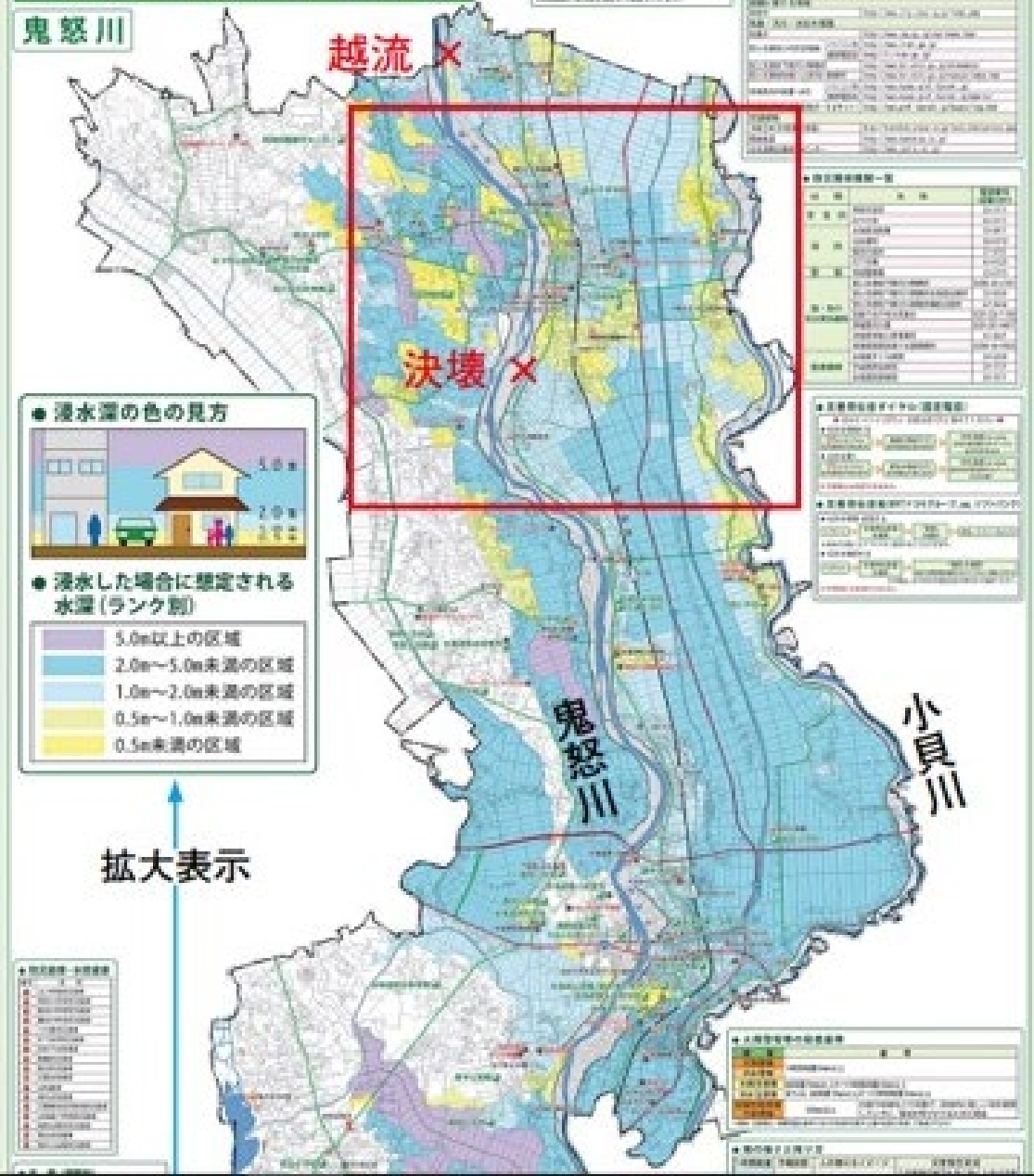


● 浸水想定区域の発生(浸水想定)

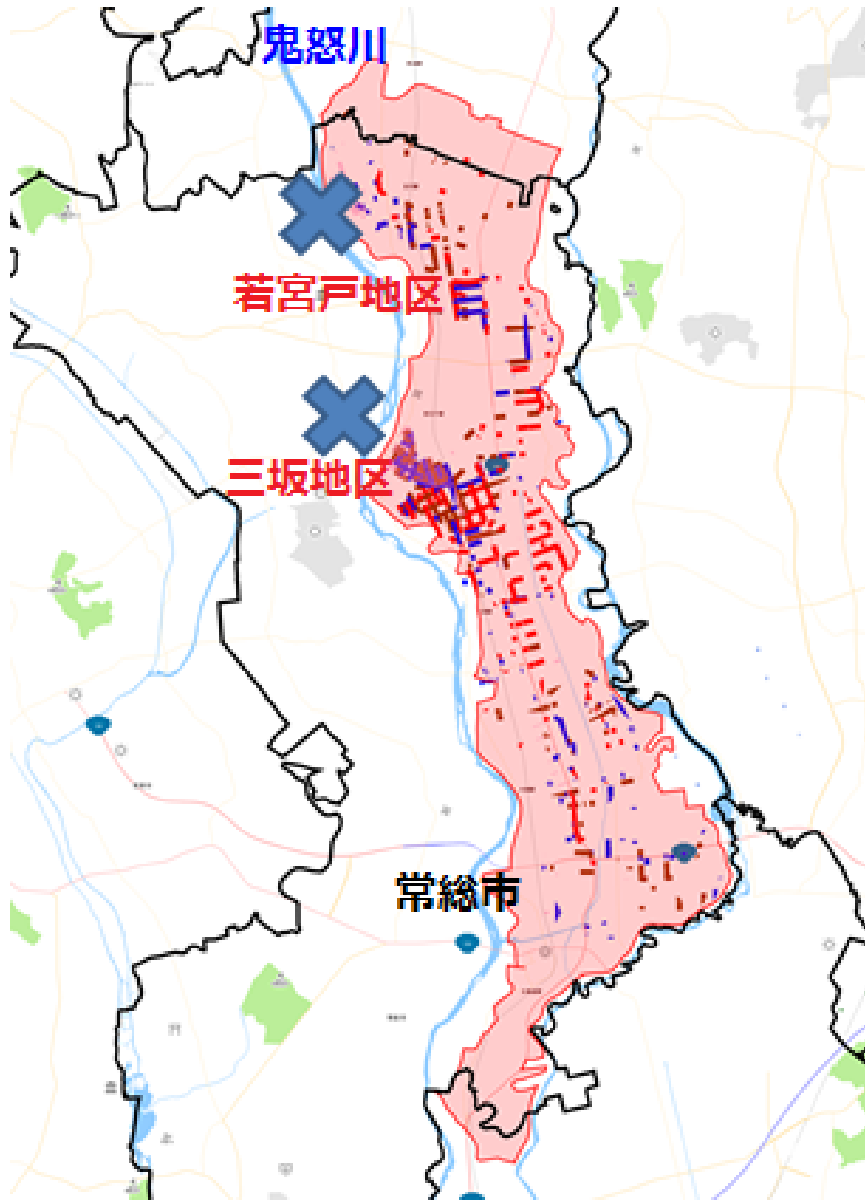
浸水想定区域	浸水想定水深
...	...

● 浸水想定区域の発生(浸水想定)

浸水想定区域	浸水想定水深
...	...











栃木 茨城 大雨特別警報
最大級の警戒を

中継 茨城 常総

NHK







・2015年関東東北豪雨災害の伝承（**水害を忘れない復興**）のため、市民有志で活動開始

・数年は許可を得た街の各所に**水害時高水位**
を示すステッカーを貼り歩き
語り部に話を聞く**ステッカーツアー**をやっ
てきた



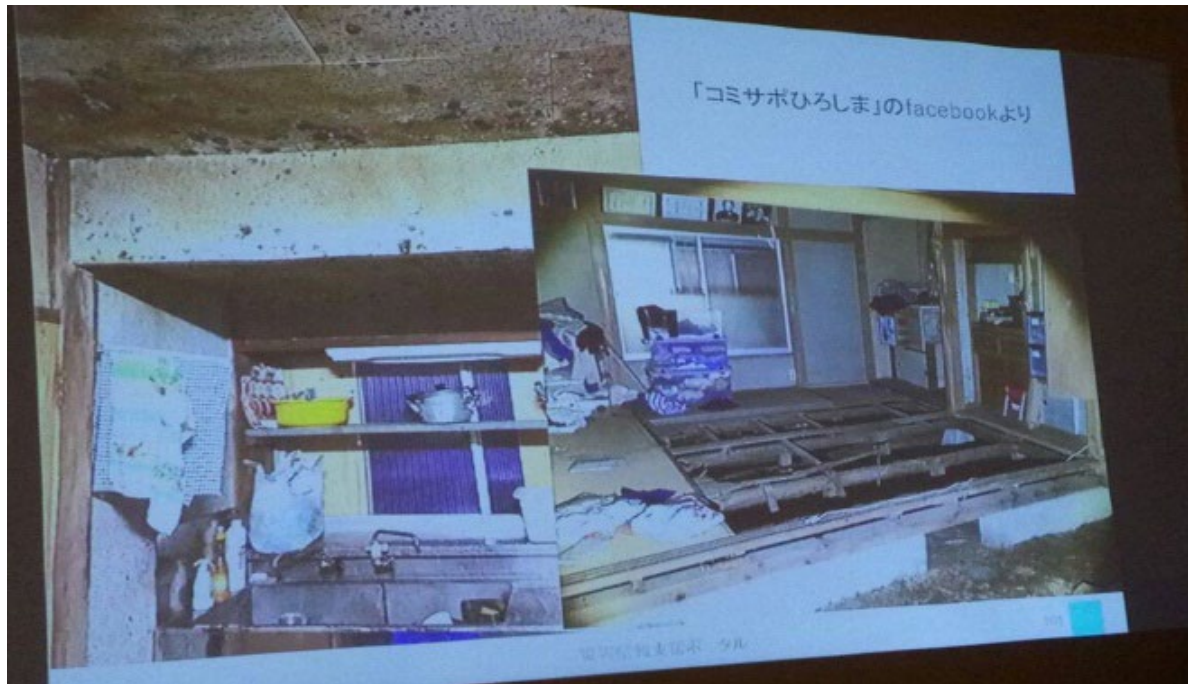




小貝川—鬼怒川 自転車ツアー



・常総市の洪水の歴史や千葉の洪水対応を聞くセミナーや、 中越地震スタディツアーコース視察訪問も 実施



(19.11.15)

[水害と復興のまちづくりセミナー③]

高齢過疎地を襲った台風15号
—千葉現地からのレポート

常総市役所市民ホールにて、台風15,19,21号の千葉を中心とした被害状況とボランティア,行政の動きについて現地レポートを学ぶ会を行い、13名が参加

・近年は、水害という「影」だけでなく常総市の観光という「光」にも目を向けて活動

・その一環として川を正しく恐れ、かつ楽しむ**カヌーイベント**や、
水運で栄えた街の面白ポイントをケータイ
写真を撮りながら探す「**街歩き**」も開催



2021
7/18
SUN

水害から5年10ヵ月…
コロナ禍の中で街の過去と未来を見つめる

水海道まちなか発見ウォーク & ディスカッション

9:30 水海道駅集合 (12:00 終了)
事前申込制

参加費無料

(ディスカッション会場のカフェで各自ワ
ドリンクオーダー・お支払いください)

昨年9月には関東東北豪雨水害から5年を迎えましたが、コロナのため水害5年をふりか
えるイベントは行うことができませんでした。しかしながら新しい生活様式のもと、当
会も今だからこそ意味がある発信をしよう、と動き出しました。今年2021年7月に二回
のイベントを行います。いずれも過去に同様の趣旨の企画で好評だったものをベ
ースにリメイクしています。

7月一回目のイベントは「**本市文化協会中山会長の“路地をめぐるウォーク”と、水海道の
明日を考えるクロストーク**です。皆さまふるってご参加ください!
(7月25日第二回イベントは「川に親しむ」カヌー体験イベントです。こちらませひご参加ください!)

- 9:30 水海道駅集合/受付 開会ご挨拶
- 9:40 中山先生(ウォークガイド)による概要説明と発見まちあるき
- 10:20 アールツーカフェ(水海道駅至近) 着 トイレ休憩
- 10:20 カフェ前発 路地マップをお渡しし各自発見散策
『ケータイフォトでまちを発見! My水海道プロジェクト』
(各人楽しく迷子になってください!)

- 10:50 各自カフェ帰着
- 11:00 ふりかえりディスカッション
・カフェオーナーによるトーク『水害から5年の現在まで』(仮題)
・ふりかえり共有会
各人が発見した(ケータイで撮影した)水海道の“光(魅力)”“影(水害の痕跡)”の
フォトをGoogleマップに反映共有しみんなで「水海道発見地図」をつくらう!
・クロストーク&ディスカッション 『ここがイイよね!水海道』

12:00 終了

(昼食場所・お土産ご購入できる各店、ご紹介します!)



好評だった前回路地
ウォークのチラシ

見てみようよ! 常総市の会

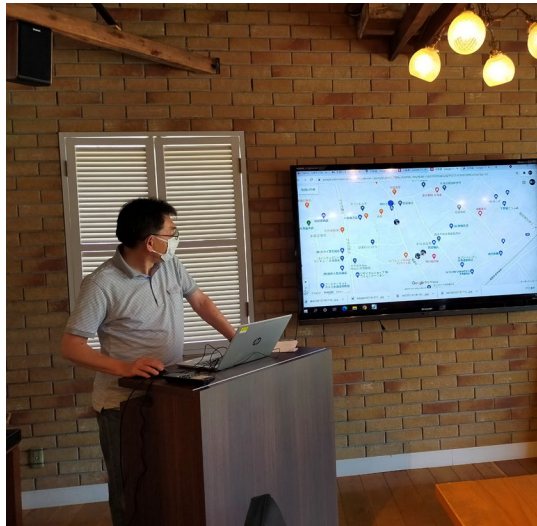
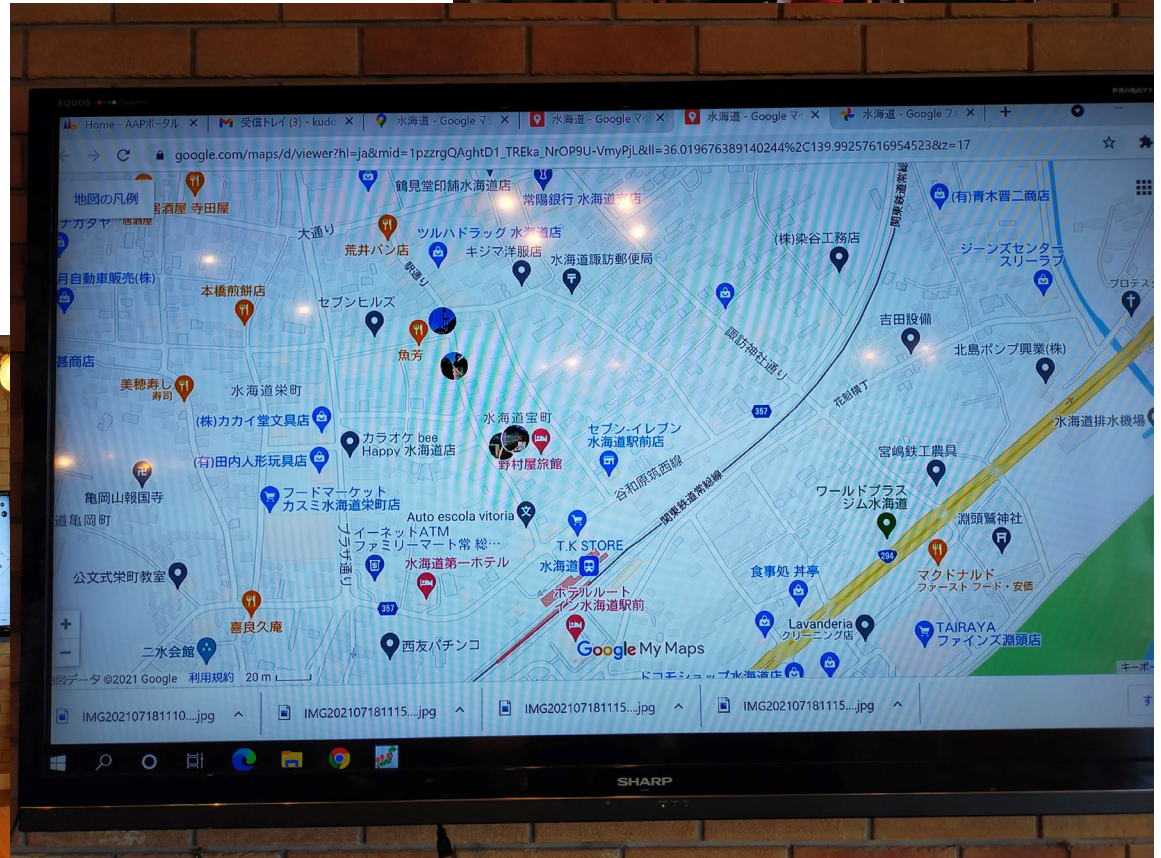
事前申込
お問合せ

染谷みどり (代表)
Uuh2k6537852v2b@ezweb.ne.jp
090-1836-9444

見てみようよ! 常総市の会 は、平成28年2
月、その約半年前に発生した関東東北豪雨
災害の教訓を未来の世代に語り継ぐために
結成された市民の会です。現在は水害の記
憶(影)をふりかえるだけでなく、復興進
む常総市の魅力(光)にも目を向け発信し
ていこうとしています。

このイベントは真如苑助成事業の支援を受けて実施しています





2021
7/19
MON

水害から5年10カ月…
コロナ禍の中で川の魅力を見つめる

カヌー体験 de 川のお散歩 & “川の魅力”ディスカッション

参加費無料

事前申し込み制

9:00 水海道駅集合 (水海道駅から送迎希望の方は申込時にお申し出ください)
9:20 小貝川現地集合 ※集合場所はお申込時にご確認ください
(12:00 終了)

昨年9月には関東東北豪雨水害から5年を迎えましたが、コロナのため水害5年をふりかえるイベントは行うことができませんでした。しかしながら新しい生活様式のもと、当会も今だからこそ意味がある発信をしよう、と動き出しました。今年2021年7月に二回のイベントを行います。いずれも過去に同様の趣旨の企画で好評だったものをベースにリメイクしています。

7月二回目のイベントは、経験豊富な小貝川ボニー牧場カヤックスクールインストラクターの指導による小貝川での“カヌー体験”と、常総市を流れる川の魅力活用を考えるロストークです。

皆様ふるってご参加ください!

(7月18日第一回イベントは“水海道まちなか発見ウォーク”です。こちらぜひご参加ください!!)

9:00 水海道駅集合 小貝川カヌー実施ポイントまで移動

9:20 現地受付

9:30 開会式
陸上レクチャー/準備運動

9:50 カヌー体験開始

11:10 川からあがる 片付け

11:30 日陰に移動

オープンエア車座ディスカッション
『常総市を流れる川の魅力活用を考える』

12:00 全体終了
水海道駅までお送り

(昼食場所やお土産ご購入できる各店、ご紹介します!)



見てみようよ! 常総市の会

事前申込
お問合せ

染谷みどり (代表)

Ouh2k6537852v2b@ezweb.ne.jp

090-1836-9444

見てみようよ! 常総市の会 は、平成28年2月、その約半年前に発生した関東東北豪雨災害の教訓を未来の世代に語り継ぐために結成された市民の会です。現在は水害の記憶(影)をふりかえるだけでなく、復興進む常総市の魅力(光)にも目を向け発信していこうとしています。

このイベントは真如苑助成事業の支援を受けて実施しています



・一昨年から水害被災者の証言を映像記録するアーカイブ化も開始。これまで区長さんやNPO、市役所職員や、関東鉄道常総線の鉄道マンなどに貴重な証言をいただく

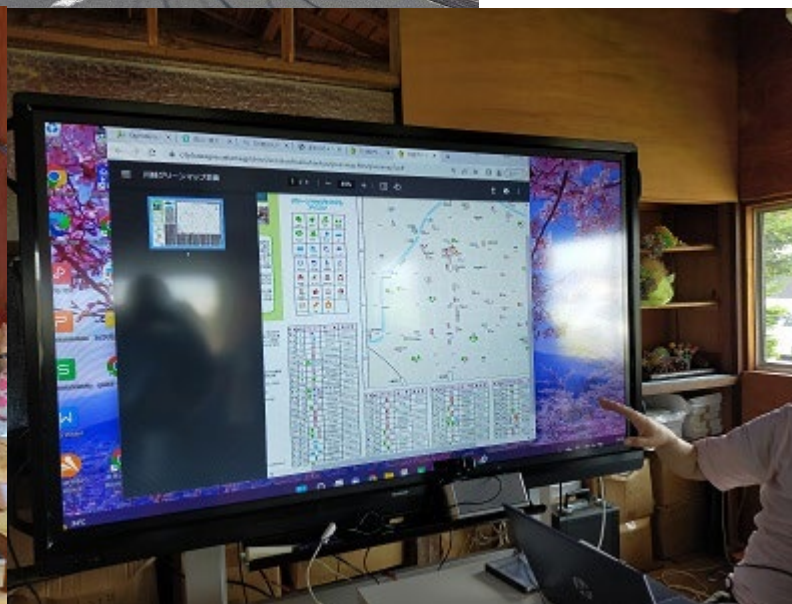


・これらの活動には全労災やキリン財団、真如苑、そして内閣府防災教育チャレンジプランの支援をいただいていた。



-報道にもたびたび取り上げていただいた。

・現在、被災証言をオープンストリートマップというウェブ版の無料地図にリンクさせて、みんなで作る伝承マップの活動を開始



**2023年度現在と、
これから**

・山間地でない、中心市街地が広範囲に水に浸かった例は全国的にも珍しい。
しかし他の大規模被災地のように**水害メモリアル館的なハード施設は常総市にはない**

・なので風化の進む今、メモリアル館を、**予算がほとんどかからないウェブ上で建設したい**

・来年度制作するウェブサイトを「**常総水害ボランティア顕彰館**」と名付けて来年度公開したい

・そしてその館は、水害被災状況の記録というより、全国から集まっていたボランティアへの、市民の感謝（エピソード）を集めた館にしたい。

水害そのものは辛い記憶で思い出したくないという市民も多いが、復興期のボランティアの活躍については皆さん積極的に口を開いてくれる。



ボランティアの少女が忘れていった手袋を「宝物」と言い、大事そうに取り出す加倉田さん

2025年は関東東北豪雨水害10年の祈念年。
(2024はのその PRE YEAR)

→それは重要なエポック

┌ 一級河川の破堤、そして、山間地でない中心市街地が広範囲
├ に水に浸かった例は全国的にも珍しい。
└ (いまだに防災関係者の会議・学会などで名前が挙がる)

被災時には、全国から多くのボランティアが常総市に駆け付け、復興の後押しをしてくれました。



「**水害10年**」の機に、
常総市から全国の人々に「復興なった常総市へ、
今度は“光”を見に来てほしい」との呼びかけを！

→**水害10年を機に“影を光に”反転させる、
市民挙げての観光キャンペーンを展開**

■水害10年祈念観光キャンペーンの展開

〔2024 PRE YEAR〕

- ➡市民一丸で“再訪を呼びかける”態勢構築
- ➡メインYEARに向けた気運醸成



〔2025 MAIN YEAR〕

- ➡9月に実施する「メモリアルイベント」と
带状の期間を持った「“再訪よびかけ”観光キャンペーン」の実施

■〔2024 PRE YEAR〕

- 市民一丸で“再訪を呼びかける”態勢構築
- メインYEARに向けた気運醸成

・2024度に市民プロジェクトで制作する常総水害のメモリアルウェブサイトを2024年度に公開したい。

(市民プロジェクトで推進←行政支援をお願いしたい)

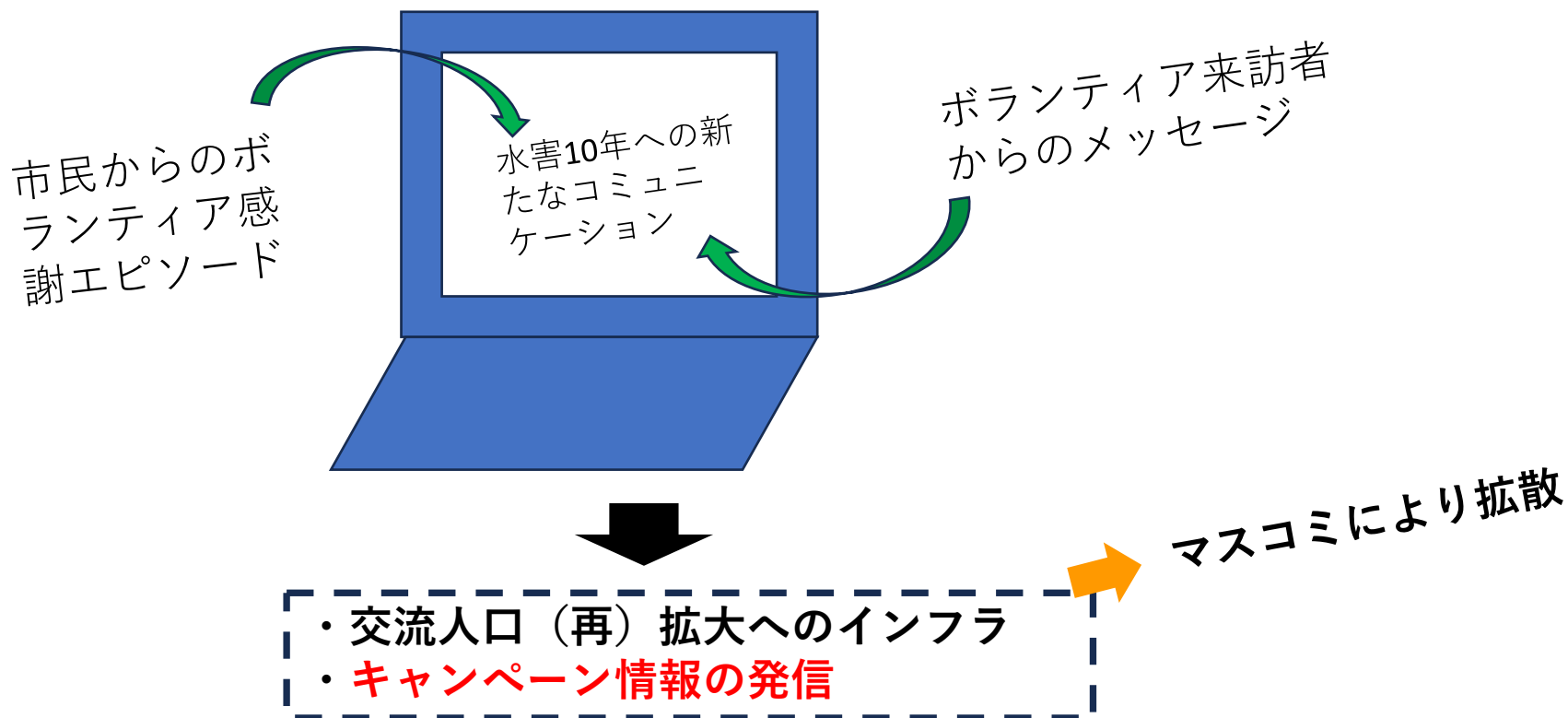
- ・そのサイトは、水害被災時状況の記録はもちろんであるが、それが力点になるというより、復興期に**全国から集まっていたいただいたボランティアへの、市民の感謝（エピソード）を集めたもの**にしたい。
- ・サイトの名称は「常総水害メモリアル館」ではなく、『常総水害ボランティア顕彰館』と名付けたい。



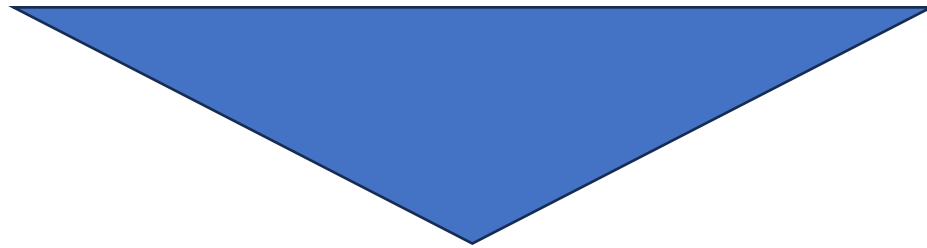
水害10年祈念プロジェクトキャンペーンの基点
となるコミュニケーションサイト

『常総水害ボランティア顕彰館』

全国の被災地には災害メモリアル館（ハード施設）が各所存在するが、復興期のボランティアへの感謝をテーマとしてそれを館名として掲げた施設は皆無。



・この「ボランティアへの感謝」という市民の共通感覚は、ある意味、常総市民が被災という負の経験のなかから“凶らずも獲得した”「未来への財産」です。



「ボランティアへの感謝」で市民をまとめ上げ、反転攻勢観光キャンペーンの“心根のコンセプト”に。

・今年度はそのウェブサイト構築のためネットワークづくりとして市民各層の企画協力者を求めた（2023年度のチャレンジ）。

Web上『常総水害ボランティア顕彰館』構築のための第一回企画検討会(9/30)

Web上『常総水害ボランティア顕彰館』構築のため、より広い市民層の参加を促し、また、同サイトの機能やコンテンツの方向性を検討するため、参加者を募集し、検討会を実施した。

2023
9
/30
土

水害から8年…街の過去と未来を見つめる 参加無料

『平成27年関東東北豪雨水害復興ボランティア顕彰館』Web上建設 検討会議
市民プロジェクトフォーラム+防災インタビュー記録映像上映

関東東北豪雨水害から8年。街中からは水害の痕跡がなくなりつつありますが、近年の災害多発状況を見につけ、水害の脅威は決して減少していないと感じます。当会では伝承活動の一環として被災証言映像を収録しており、来年度、これら水害資料とご共に全国から来訪いただいたボランティアの活躍についての市民の証言と感謝メッセージを集めて、『常総復興ボランティア顕彰館』を建設したいと計画しています。“建設”と言っても現実の建物は費用的に無理なので、まずはweb上に建てることにしました。水害十年を見据えての参加型プロジェクトとして、どうこの“web上の館”を構築していくか…市内外の有志にお集まりいただく会議を開催します。参加資格不問、今回の初回含め年度内に計3回会議を行う予定です。皆様一緒にプロジェクトを進めましょう!!

14:00 えんがわハウスカフェ(最寄駅:北水海道) 常総市水海道橋本町3571 0297-44-4281

13:40 受付開始
14:00 開会挨拶
第一部 水害を振り返るインタビュー映像作品上映(約36分)
14:40 ミニトーク:映像登場証言者の話
14:50 休憩
15:00 第二部 プロジェクトフォーラム
『常総復興ボランティア顕彰館(Web上建設)』をどうつくる?
※参加者全員車座自由討議
16:00 終了



えっ、伝承館をweb上に建てるんですって!?

面白そう!!

※性別・年齢・国籍・性別等参加資格は不問です。
※事前申込を原則としますが、当日参加も可能です。
※お申込みいただいた方でも当日参加が難しい場合は参加をキャンセルさせていただきます。
※実行時に参加がある方は参加がおります。

立場を超えて、みんなで参加!!

災害の教訓を次世代に語り継ぎ、地域の“光”を見つめる
見てみようよ!常総市の会

事前申込
お問合せ
染谷みどり(代表)
0uh2k6537852v2b@ezweb.ne.jp
090-1836-9444

見てみようよ!常総市の会は、平成28年2月、その約半年前に発生した関東東北豪雨水害の教訓を未来の世代に語り継ぐために結成された市民の会です。現在は水害の記憶(影)をひかえるだけでなく、復興への常総市の魅力(光)にも目を向け発信していくとしています。

このイベントは「防災教育エンジニアプラン」の実績を受けて実施しています



結果的に8名の参加者を集め、被災時の地区対応やサイトの内容等について討議を行い構築案の原型を練るための貴重な意見得ることができた。

当日は、会が映像記録している被災者証言インタビュー集(映像作品)の試写会も併せて行い、映像登場証言者の方々も来訪いただくことができた。

Web上『常総水害ボランティア顕彰館』構築のための第二回企画検討会(12/4)

第二回検討会は第一回を上回る10名の参加者を集め、さらに討議を深めることができた。
(地元防災士会の方NPO法人代表等)

当日は会議に併せて、防災食の作成・試食会も行い、討議終了後、参加者は防災食を食べながら楽しい雑談に花を咲かせた。



2023 12/3 日

水害から8年…街の過去と未来を見つめる
『舟運の街・水海道』・再発見まちあるき 参加無料

『平成27年関東東北豪雨水害』Web上に構築する『復興ボランティア顕彰館』検討市民会議 開催費上乗

関東東北豪雨水害から8年、街中からは水害の痕跡がなくなりつつありますが、水害の記憶は忘れてはいけないと感じます。当会では伝承活動の一環として、舟運で栄えた水海道の歴史を知る「再発見まちあるき」(午前)と「復興ボランティア顕彰館の企画会議」(午後)を行います。顕彰館は、当会で収録している被災証言映像などの水害記録資料と全国から来訪いただいたボランティアの活躍についての市民の証言と感謝メッセージを集めての資料館です。資料館と言っても現実の建物の建設は費用的に無理なので、まずはweb上に建ててみることにしました。水害十年を見つめて市民プロジェクトとして、どうこの「web上の館」を構築していくか… 市内外の有志にお集まりいただく会議を開催します。参加資格不問、今年度は今回含め2回の会議を行う予定です。皆様と一緒にプロジェクトを進めましょう!! 午前・午後に跨る催事になりますので是非通しでご参加ください。

10:00 水海道駅集合

10:30 集合(水海道駅改札前)・開会・挨拶・ガイド紹介
10:35 第一部『舟運の街・水海道』・再発見まちあるき 出発
11:50 徒歩終了
昼食: 水海道街中にて各自(お店はご案内します)
~13:00 第二部会場へ移動
第二部会場:

13:10 第二部『復興ボランティア顕彰館』プロジェクトフォーラム 📄
①映像上映:伝承活動紹介(11月30日付)『たけな2023発表状況』
②企画会議『常総復興ボランティア顕彰館(web上建設)』をどうつくる?
※参加者全員車座自由討議

15:00 終了

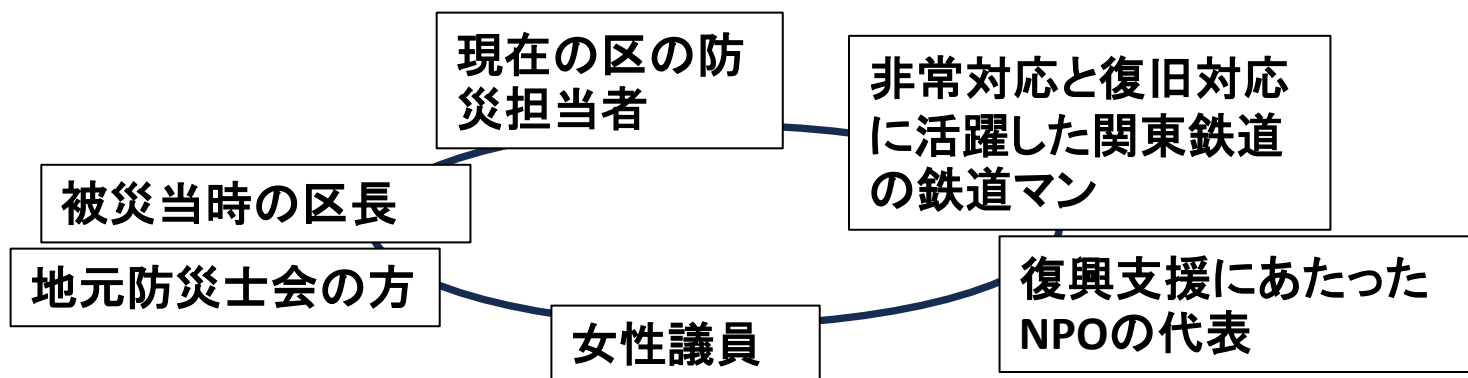
えっ、伝承館をweb上に建てるんですって? 面白そう!!
立場を超えて、みんなで参加!!
※ご登壇・参加・観覧は強制参加ではありません。
※参加費は発生しません。自由参加となります。自由参加の場合は当日会場へお越しください。お申し込みいただいた方には当日会場でお会いさせていただきます。
※会場に足跡のある方は参加を断ります。

災害の教訓を次世代に語り継ぎ、地域の“絆”を見つめる
見てみよう! 常総市の会
見てもよ! 常総市の会は、平成28年2月、その前身(常総市災害対策推進委員会)災害の教訓を未来の世代に語り継ぐために結成された市民会です。現在は常総の記憶(影)をふりかえるだけでなく、復興推進常総市の魅力(光)にも目を向け発信してまいります。

事前申込
お問合せ
染谷みどり(代表)
090-1836-3444
090-1836-3444

このイベントは「防災教育チャレンジプラン」の支援を受けて実施しています

市民プロジェクトとしての動きを確立するための留意点などについても討議された。



サイトの、持つべき機能：

- ・市民からのボランティアへの感謝メッセージ・エピソード
- ・ボランティア来訪いただいた方からのメッセージ・エピソード
- ・水害被災からの防災的教訓(これはダメ！等)
- ・地域の防災への取組
- ・水害証言映像集
- ・水害痕跡MAP
- ・災害概要

Web上『常総水害ボランティア顕彰館』構築のための
の第三回企画検討会(2/月上旬開催予定)

**市民挙げての観光キャンペーンを展開すべ
く行政協働提案中**

・そして今日18日には、横浜で開催される内閣府「ぼうさいこくたい」に、全国から参加して来る400団体の一つとして参加。



・我々の市民伝承活動の紹介と、**当時ボランティア**に**来訪された方々への感謝**を伝えつつ、**下記を訴える。**

「**復興**なった常総市への、**今度は‘光’**を見に**来る再来訪**をお願いしたいと思います。」

8年前に常総市に復興ボランティアに来て
いただいた方、
我々の活動にご関心のある方、
御連絡をお待ち申し上げます。

代表：染谷みどり

0uh2k6537852v2b@ezweb.ne.jp

090-1836-9444

最後までお聞きいただき
ありがとうございました ♪